

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			・屋内、屋外共に定員に対して余裕があるスペースを設けています。活動内容によって使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			・管理者/児童発達支援管理責任者1名、看護師2名、保育士2名、計5名で対応させていただいております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		・一部車椅子での移動不可な場所があります。必要に応じて福祉用具を使用し、安全に介助できるようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			・集計後に法人のホームページにて公表をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		・法人内で順次受ける準備を進めています。他事業の評価結果を共有し、自事業の改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			・職員ひとり一人のスキルアップやキャリアアップを目指して、必要な研修を積極的に受講しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			・5領域への支援を基本とし、個々の特性に応じたプログラムの立案を行うようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			・目的がある場合は固定することもあります。様々な経験ができるように計画を立てて実行しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			・毎回必ず個別と集団の活動をプログラムに組み込んでいます。利用児の状態に応じて個別対応できる体制も整えております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			・各担当が主となり、活動の流れや内容の確認を行っています。目標や期待する効果を明確にして取り組むようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			・翌日にケース会議を行い、支援経過の報告をしています。ひとり一人の状況を全体で共有し、統一した対応に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時に情報を共有しています。細かい配慮が必要な際は、会議や電話連絡で連携を図っています。現在までに大きなトラブルもなく、学校側とも良好な関係を築けています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・主治医からの指示書に基づき、必要な医療的ケアを提供しています。緊急時の対応や連絡体制も整えております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・今年度の事例はありませんでしたが、同法人事業所での前例があり、児者切り替え時の担当者会議に参加しています。スムーズに移行できるように連携を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・感染症対策もあり、交流は出来ませんでした。これまでも他所との交流は難しさもあり、今後の検討課題です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・圏域のこども部会等へ参加し、地域の現状や課題について情報収集を行っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に丁寧に説明するよう努めております。また、更新等による変更があった際にも、分かりやすく説明するようにしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・今年度はファミリー交流会と茶話会を開催しました。次年度は更に回数を増やせるよう計画をしております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			

非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			・活動予定表を作成して配布しております。連絡帳以外にも電話やLINE等の通信手段を設け、簡易に連絡や相談が出来る体制を整えています。
	35	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			・近隣の親子が遊具を使用されています。また、近隣で火災が発生した際には、避難所や消防団の駐車場として使用していただきました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<input type="radio"/>			・法人の各委員会にて作成したマニュアルを基に、全体に周知して様々な対策を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			・活動の中でSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の題材として、火事、地震、水害等の様々な災害を想定した避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>				
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			・ヒヤリハット事案への対策と再発防止策の話し合いを行っています。	